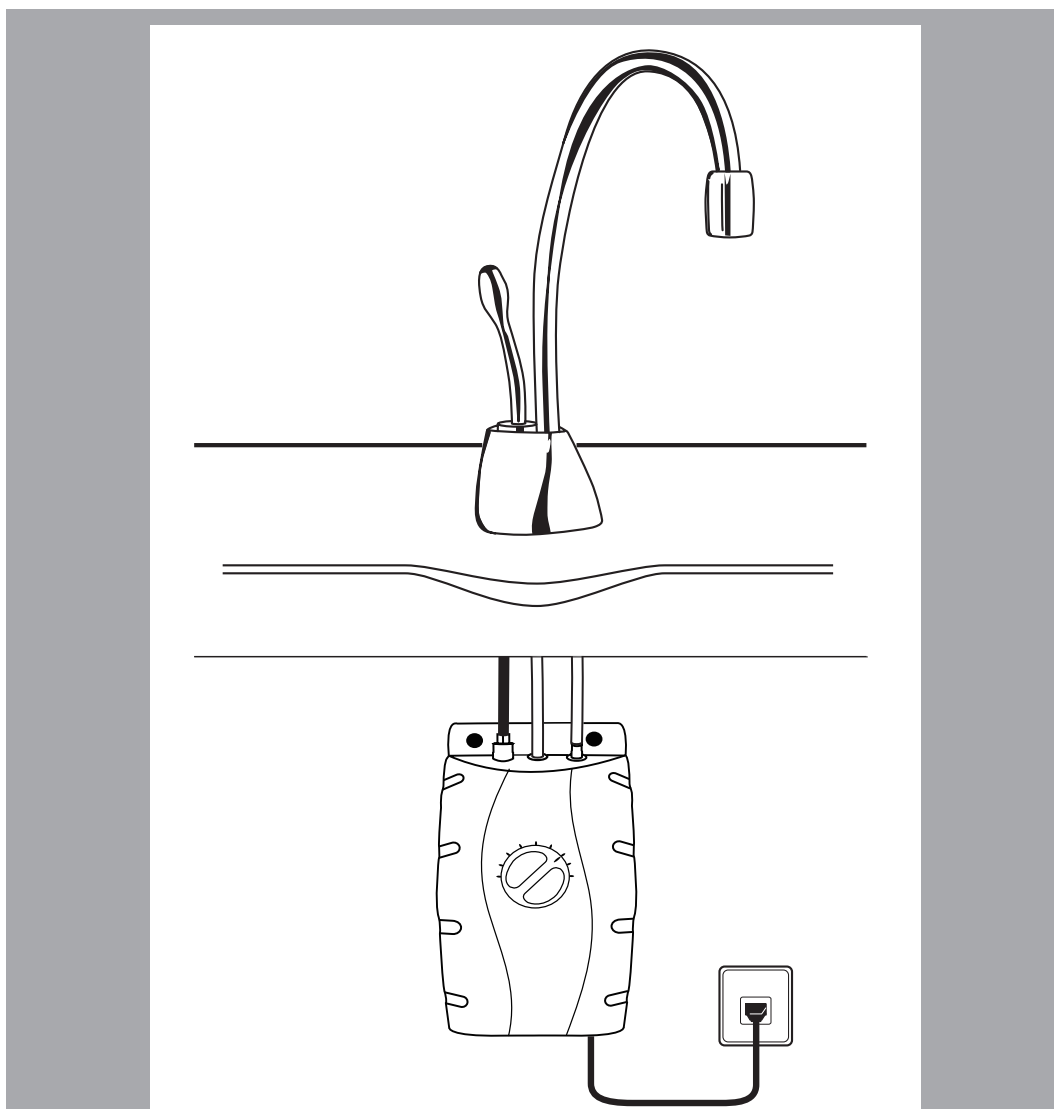


取扱説明書



この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意



警告

本温水器からは90°C以上の熱湯に近い温水が給湯されますので、お子さまが操作されることのないよう、ご注意ください。

高齢者、障害者、子供あるいは電気製品への知識の乏しい方などが本製品を使用する場合には安全を確認できる保護者あるいは監督者の指示のもとにお使いください。
子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使わないようにしてください。
やけどなどの危険があります。

保証書つき

このたびは 電気温水器 GN1200 をお買い上げいただき、ありがとうございました。
お使いになる前に、この説明書をお読みください。

1

お使いになる前に

この電気温水器は88℃から98℃の温水を供給いたします。

操作も簡単で、蛇口のハンドルを倒すだけで温水が得られます。

温水器の構造概略図と各部の名称は図1をご覧ください。

図2にありますように電源プラグはアース端子付きですので必ずアース付コンセントに接続して下さい。

濡れた手で電源プラグに触れないようにご注意ください。

安全面ではタンク内部に水が入っていない状態で通電してもヒーターが過熱されないように保護回路が組み込まれています。

図1 温水器の構造概略図

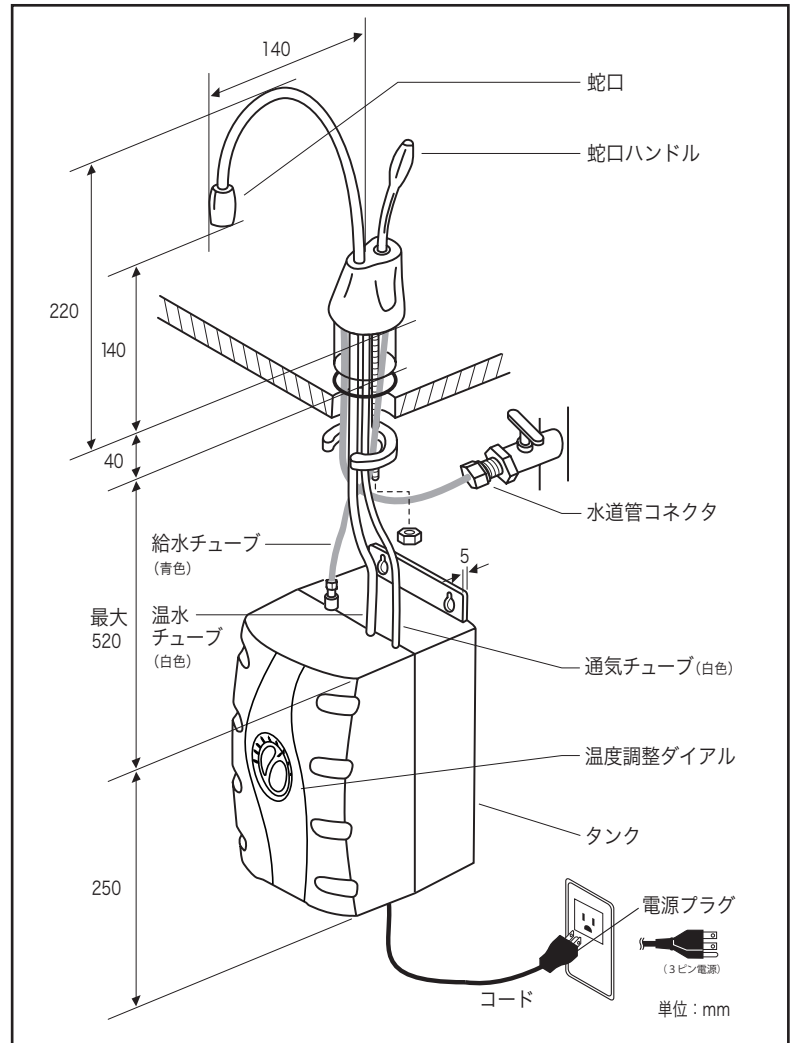
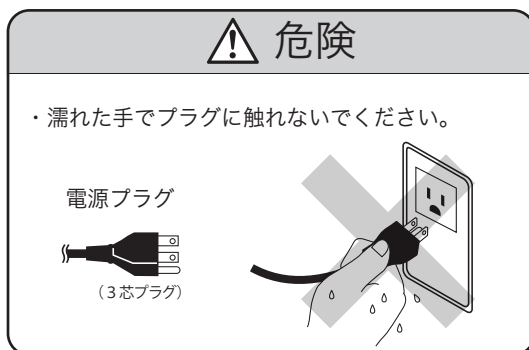


図2 電源プラグ



2

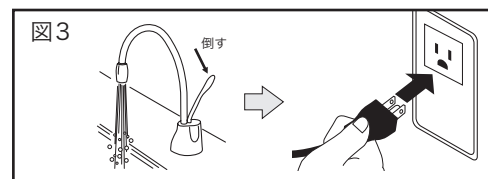
操作方法

2-1 給水の確認

- (1) 電源プラグを差し込む前に、まず最初に給水の元栓を開けます。
- (2) 蛇口のハンドルを倒します。約1分でタンクは一杯になり、水が蛇口から流れ出ます。(図3)
- (3) お買い上げ後、始めてお使いになる場合は、すべての配管をチェックして、水漏れがあるかどうか調べてください。もし水漏れがあったら、取扱店に修理を依頼してください。

注意

プラグをコンセントに差し込むのは一番最後にしてください。



タンク内に水が入っていることを確認してからプラグをコンセントに差し込んでください。

水が入っていない状態で加熱を行なう「空炊き」の状態になりますと、保護回路が作動し、強制的に通電が止まります。プラグを抜いてタンクに給水してください。

2-2 電源を入れる

- (1) チューブと接続部の点検が終了し、すべてが良好であれば、電源プラグをコンセントに差し込みます。プラグを差し込むと、電源ランプ（緑色）が点灯します。（図4）

2-3 給湯する

- (1) 電源投入後、タンク内のヒーターが適温になるまで、約15分以上お待ちください。
- (2) その後、蛇口のハンドルを倒せば、蛇口からの温水が給湯されます。（図5）

図4

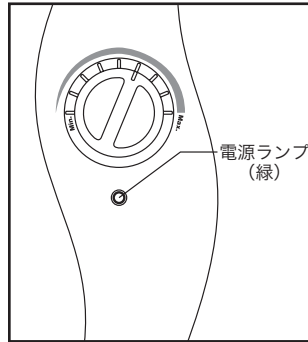
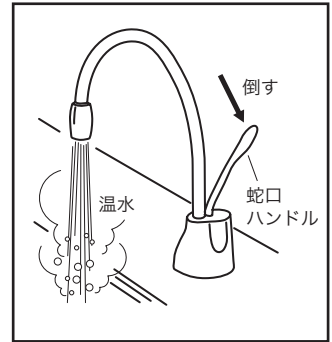
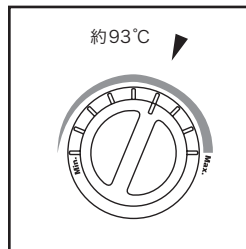


図5



- ・ 2～3カップ（1カップ/約180cc）の連続給湯をした場合、次の給湯まで1～2分待ってください。タンク内の水温の上昇を待つ必要があります。
- ・ 温水器の水は運転開始直後、沸騰することがあります。もし、沸騰が長引くようであれば、タンク前面にある温度調整ダイヤルを調整してください。
- ・ 工場出荷時の温度設定は約93℃となっています。（図6）
- ・ 調整ダイヤルを右方向に回せば、温度は高くなり、左方向に回せば、温度は低くなります。必要に応じて、調整してください。その際、ダイヤルを急激に回さず、ゆっくりと回してください。
- ・ ダイヤルを回した後、蛇口ハンドルを20秒間倒して、新しい設定値への再加熱を行ってください。

図6



⚠ 危険

感電：
感電を防ぐために、タンクを使用するまで電源プラグは抜いておいてください。
アース付きコンセントを使用してください。

⚠ 注意

やけどの危険：
湯を沸騰させないようにしてください。
やけどの危険があります。

3

お手入れの仕方

3-1 蛇口とタンクの清掃

- ・ 温水器の蛇口やタンクの樹脂部分をお洗いになる場合は、弱～中性洗剤をお使いください。
- ・ 酸性、アルカリ性及び有機溶剤の入った洗剤は樹脂製の部品には有害ですので、使用しないでください。

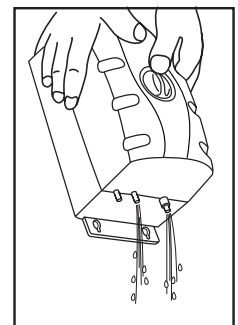
3-2 長期間使用しないとき

電気温水器を長期にわたって使用しない場合は、電源プラグを抜き、タンク内の水を抜いて乾燥した状態で清潔に保管してください。また気温が0℃以下となる場合も、タンクの水を抜いてください。排水方法は、次の手順に従ってください。

- (1) 電源プラグを抜きます。（タンク正面の電源ランプが消える）
- (2) 蛇口のハンドルを倒して、水温が冷たくなるまで水を流します。
- (3) 給水蛇口の元栓を締めます。

- (4) 給水、温水、通気各チューブを抜き、タンクを外して、天地を逆にして排水してください。（図7）

図7



注意：再使用する時は、必ずタンクに水を満たしてから、電源プラグを入れてください。

3-3 水漏れの点検

定期的にタンクに水漏れの兆候がないか点検し、水漏れのある場合は直ちに使用をやめ、水漏れの箇所を点検してください。また、水漏れによる被害を防ぐため、チューブがゆるんだり、裂けたりした場合は取り替える必要があります。

